



真剣なまなざしで傍聴する未来の有権者 ～真室川中学校3年生～

ま 真室川町

議会だより

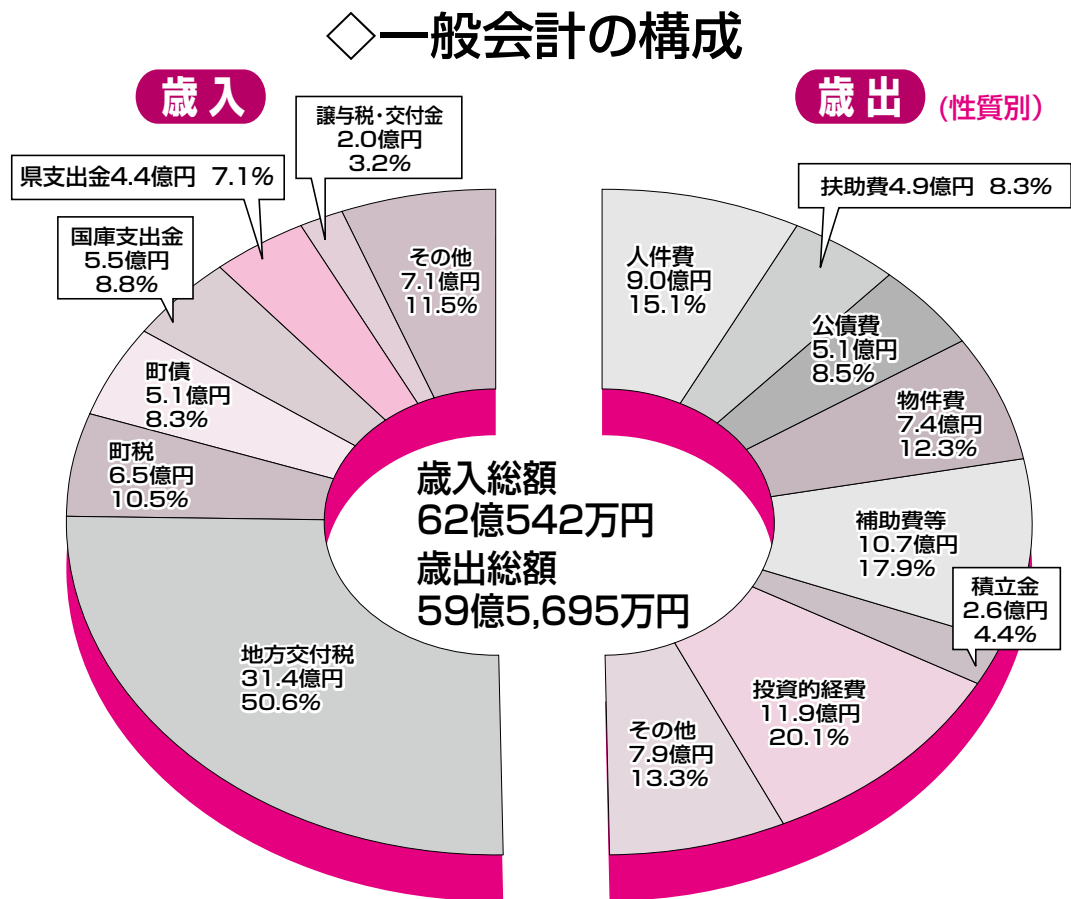
2017年10月25日

No. **140**

決算審査	2
議案審議	4
請願・意見書	5
臨時会	5
一般質問（8人登壇）	6
議会傍聴（真室川中学校3年生が傍聴）	12
町民の声	14

8会計決算を認定!!

中学校屋根・トイレなど改修



質疑のあれこれ

一般会計

中学校振興費

平野委員 中体連とその他の大会によって補助率に違いがあるが。

教育課長 中体連は直接教育課程に関わる大会。他の大会は直接中学生の教育活動に関わる大会で



真室川中学校の屋根改修工事

はない。義務教育に関わる大会ではないので差をつけている。

中学校トイレ改修

大友委員 改修工事の内容は。

教育課長 今まで和式のみトイレであったが、各トイレに1基ずつ洋式トイレを設置した。

町税徴収率

外山委員 回覧の「税だより」の見出し、「滞納はさせない、放置しない、

逃さない」とある。担当者が意識することであって、多くの町民が真面目に納税しているのにこの見出しはおかしいではないか。

秋山牧場

菅原委員 秋山牧場の利用料収入が減ってきている要因は。

農林課長 牛の伝染病が蚊などの虫から感染するために、放牧頭数が減少しているため。

検診料減免

成子委員 女性特有の検診料の減免についての方性は。

福祉課長 現時点では考えていない。

寄附金

高橋委員 指定寄附金収入150万円の内訳と扱

いは。

総務課長 それぞれ2名の遺族の方からの寄附であり、いきいきサロンの支援や、幼児クロスカン トリー用スキーセットの購入に使わせていただいた。

原木なめこキャラクター

栄子委員 キャラクター作成委託料の内訳は。

農林課長 日本一の原木なめこの産地を目指して、PR用キャラクター商品やシールなどによって、産地化増と日本一位をめ

H27年次 山形県特用林産物生産状況
(※H28年次はまだ公表されていません)

順位	市町村名	原木なめこ栽培(トン)	備考
1	真室川町	9.3	※日本一
2	白鷹町	4.8	
3	西川町	3.9	
4	最上町	2.0	
5	鶴岡市	2.0	

平成28年度 各会計歳入歳出決算状況

(単位:円)

会計		区分	歳入額	歳出額
一般会計			6,205,425,422	5,956,952,442
特別会計	国民健康保険		89,841,521	88,555,122
	後期高齢者医療		85,618,348	86,454,873
	介護保険		1,202,798,973	1,177,263,077
	病院事業		979,058,148	959,046,830
	水道事業		302,095,768	300,599,938
	公共下水道事業		145,462,547	143,795,868
梅里苑事業			110,260,818	100,780,860
合計			9,120,561,545	8,813,449,010

決算審査特別委員長意見(要旨)



決算審査特別委員長
佐藤 正

■一般会計

人口減少に歯止めをかけるため、将来的に町に残り地域に貢献してもらえようとする人材育成も不可欠であると考えている。そのためにも、学校教育に

となる「新・町立真室川病院改革プラン」の着実な執行と、県立新庄病院の改築に伴い、県との連携を強化され、町民にとってなくてはならない当病院の診療体制の確立と安定経営に努められるよう望む。

併せて、幅広い年代の町民が利用する体育施設等についても、健康寿命の向上、また交流人口拡大促進・町の活性化に向け、使用料を無償化する

など利用しやすい環境整備も必要と考える。

また、なお一層の営業努力により集客のアップを図りたい。

■特別会計
平成32年度までの計画

9月定例会

9月定例会は7日から13日までの7日間の会期で開かれ、町財政健全化比率の報告、条例改正、各会計補正予算など、町長提出案件7議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

◆一般会計補正予算

既決予算56億3860万円に8870万円を追加。
(主な歳出)

主な歳出項目	補正額
産業条例奨励金	1,286万8千円
産地パワーアップ事業費補助金	1,047万8千円
園芸大規模団地整備支援事業補助金	834万5千円
園芸大国やまがた産地育成事業費補助金	199万8千円
大滝前山林業専用道路開設工事	300万円
町道改良工事	2,400万円
秋山スキー場リフト更新	1,058万4千円

大友議員（秋山スキー場リフト更新）工事内容と年間利用者数は。更新するのであれば、町でもし

つかり宣伝をすべきでは。

教育課長 昭和57年に整備したため老朽化している。ロープリフトがあり滑車、ロープの構造となっている。土台以外の更新となる。利用者は、53日間オープンで、27名となっている。平成27年度は、ホワイトアスロン事業があつたために利用者823名であった。

(道路整備費)成子議員 新及位中ノ股線の工事状況に

ついて。

建設課長 現在蛇ヶ原地点において法面工事中であり、徐々に整備していく。

外山議員（大滝前山町有林林業専用道開設工事）工事請負費内訳は。また成熟した木材を新庁舎建設に充当の考えは。

農林課長 専用道路開設、間伐を開きながら合板などを作っていくスキームである。県では、森林ノミクスを進めている中で

適正な間伐・助成を考えている。最上郡では、人工林が多く、計画的森林整備を考えて行くうえで伐採、植林が必要とされるので、林道を整備してゆきたい。

菅原議員（県若者定着奨学金返還支援事業費負担金）現在利用者は何名か。また学校の内訳は。教育課長 現在2名であり、教育と経済を学ばれている。

佐藤一廣 人件費当初の予算編成が補正予算で出てきているがなぜか。

総務課長

当初予算で編成してきたが、職員の外部派遣など人件費、最上広域派遣などで社会総務費などで、補正が生じた。

◆専決処分の報告

・甲子園応援事業補助金100万円補正

平野委員 野球以外の競技や文化系の行事でも、町出身の子が全国規模の大会で活躍する場合、同様の応援支援を行うか。町長 当然そのように考えている。

◆町財政健全化判断比率

・公営企業資金不足比率の報告

実質公債費比率5.5%
(前年5.8%)
将来負担比率6.4%
(前年18.9%)

◆個人情報保護条例の一部改正

◆矢の沢橋補修工事請負契約の締結

指名競争入札
請負金額
1億260万円

契約相手 神室工業(株)

大友議員 修繕工事の内容と請負工事入札、落札率、工期について、又、通行はどのようなものか。

建設課長

フルスペックの改修工事（構造部品の交換や、塗装、防水工事など全面的な改修）すべてに關して行う。入札業者は、町内4社とし、落札率97.9%、後期平成30年6月末、通行については、片側通行とする。

◆スクールバス購入

契約の締結
指名競争入札
請負金額 980万円
契約相手 (有)栗田整備工場

◆介護保険特別

会計補正予算
既決予算12億7990万円に1304万円を追加。

(主な歳出)
・国庫支出金等返還金
1304万円

請願・陳情書等

●「地方財政の充実・強化を求める請願」

【請願者】連合山形新庄最上地域協議会

議長 矢口 昌博

【紹介議員】

【請願趣旨】

来年度政府予算、地方財政の検討に当たり、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立を政府に強く求めるためのものです。

【結果】採択 意見書として関係大臣に提出

●平成30年産以降の米政策の見直しに関する請願

【請願者】真室川町農業協同組合

代表理事 井上 英一

真室川町農協農政対策本部

本部長

高橋 敏

【紹介議員】

【請願趣旨】

米の需給と価格の安定は、生産者・消費者双方に重要であり、平成30年産以降においても国民の主食用米の生産について行政の積極的な関与のもと全ての産地・生産者。集荷業者等により需給調整に取り組むことを強く求めるためのものです。

【結果】採択 意見書として関係大臣に提出

陳情

●建設振興策に関する要望書

【提出者】山形県建設業協会 会長 澁谷 忠昌

●「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情

【提出者】全国森林環境税 創設促進議員連盟

会長 板垣 一

第4回臨時会（7月24日（月））

◆真室川公園改修工事

請負契約の締結

・入札 指名競争入札

・金額 6318万円

・相手方 (株)小松建設

(原案どおり可決)

◆平成29年度

一般会計補正予算

歳入歳出予算総額55億

5480万円に、それぞれ

8280万円を追加

(原案どおり可決)

主な歳出項目	補正額
役場新庁舎建設整備事業	2,766万9千円
経営体育成支援事業費補助金	291万円
畜産・酪農強化整備等補助金	5,222万1千円

議会のうごき

H29年7月～10月

7月24(月) 第4回町議会臨時会

8月3(木) 要望活動(新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会)
4(金) 商工行政懇談会

5(土)-6(日) 姉妹都市「古河市」議員交流

8(火)-9(水) 道路建設同盟会合同要望活動

10(木) 最上地区広域連合全員協議会

21(月) 議員協議会

22(火) 最上地区広域連合臨時会

29(火) 議会運営委員会、全員協議会

30(水)-31(木) 山形・秋田・岩手3県合同議長、事務局長合同研修

9月4(月) 最上市町村議会議長会議

7(木)-13(水) 第3回町議会定例会

20(水) 最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会設立総会

22(金) 町連合婦人会との交流会

25(月)-26(火) 荘内・最上両地方町村議会議長合同会議

27(水) 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会

28(木)-29(金) 中央要望活動(県選出国議員あて)

10月2(月) 最上市町村議会議長会議

3(火) 金山・戸沢・鮭川・真室川四町村議員交流

4(水) 最上広域市町村圏事務組合定例会

5(木)-6(金) 最上・村山地方町村議会議長合同会議

11(水) 町グラウンドゴルフ協会との交流

13(金) 最上市町村議会議員研修

17(火) 県町村議会議員研修

23(月) 議員協議会

24(火) 県・市町村行政懇談会

○議会広報常任委員会の開催 (9/27、10/4、10/10、10/16)

※この他、町主催の行事にも出席しております。

防災マップの完成はいつか

町長

■年内に完成の予定



菅原 道雄 議員

議員 いろいろな情報を盛り込んだハザードマップを作成中と聞いているが完成はいつか。

町長 本年6月に作成業務委託を締結し、12月の完成に向け作業を進めている。この原案を基に地域の方々の意見を反映させ、必要な修正・補完を行い年内に完成させる予定である。

昭和50年8・6災害等の災害履歴や災害へ

町長

■進路指導体制・経済産業団体との連携なしの観点で検討していく



佐藤 成子 議員

議員 教科書以外の教育費や教育関連施設での使用料無償化の考えは。

町長 教材印刷費や図書費、道徳の副読本購入費については、公費負担としている。経済的に困窮する保護者に対し就学支援事業により経費支援しており、中体連大会参加費用の支援の他に、28年度からは練習試合等で運行経費使用するスクール

■当町の奨学資金貸付制度実態と見直しについて

町長

■政府の検討状況を見極めながら検討する



外山 正利 議員

議員 当町奨学資金貸付制度の利用実態について伺う。

教育長職務執行者 町教育振興修学資金貸付制度については、議員指摘のとおり、真室川病院の医師確保を目的として基金条例を平成26年3月に改正し、医学生を対象に年額200万以内の無利子貸付と一定期間の真室川病院勤務を条件とした返還免除規定を新たに追

達する手段としてメリ

ットも多く、避難時の情報を伝達する際に効力を発揮すると認識している。

本町の防災放送システムは、光回線を使用した有線放送であることから、個別受信機を導入するには根本からシステムを改める必要がある、役場新庁舎建設において防災・災害拠点としての機能を強化し、防災上の有効な情報伝達手段について改めて検討し、安全・安心の町づくりを推進していく。

米食味コンクール

議員 来年以降も町主催で開催



防災訓練の様子

すべきでは

町長 環境王国推進事業の取り組みや、ふるさと納税を活用した真室川産米のアピール活動と併せ、米食味コンクールの開催により町産米のブランド力を高め、有利販売につなげていく。

福祉対策施設への影響なども考慮する必要がある。現在取り組んでいる保育料無料化など経済負担軽減や子育てサービス、子育て世帯の移住定住促進に加え、更なる子育て支援策として学校給食費の負担軽減や無償化について検討を必要があると考える。

議員 県立新庄神室産業高校真室川校を存続

させるために魅力ある学校づくりのバックアップを。**町長** 真室川校は普通科設置校であり、就職や進学など生徒の幅広い進路希望に応じられる教育体制



地域貢献する高校生

となっており確実な生徒の進路の実現に向けて教育指導が行われてきていると認識している。「資格取得ができる高校としてのバックアップを」の提案については進路指導体制、経済産業団体との連携などの観点で具体的に検討することが求められると考える。

別の県修学資金制度あるために対象外になっている。**議員** 修学資金貸与制度と給付制度の見直しすべきでは。**教育長職務執行者** 政府では給付型奨学金制度に加えて、大学入学者の授業料を国がいったん負担して、卒業後に所得に応じて返済する「出世払い」の導入なども財源も含めて具

体的な検討が始まると聞いているので、これらの状況を見極めながら町独自事業の必要性を検証していく。**議員** ふるさと納税の使い方について。**町長** ふるさと納税は、過渡期にきているので町として今後の動向を注視していく。奨学金制度についても検証・見直し図り継続してい

町の廃棄物処理の現状と課題は

町長

■ごみ減量の目標達成のため、
今後も3R運動を推進する



大友 又治 議員

町民一人当たり1日
ごみの排出量は、平成
28年度実績580g、
平成32年度目標487
gとしている。

議員 町の廃棄物処理
の現状と課題は。

町長 町では、国のリ
サイクル法等の整備を
受け、平成10年度から、
ごみ分別収集と有料化
により、ごみの減量化
や資源化に取組み、22
年3月に「第2次真室
川町ごみ処理基本計
画」を、28年6月に「真
室川町分別収集計画」
を策定し、適正なゴミ
処理と環境保全を推進
している。

目標達成のため、分
別収集の徹底、環境問
題に対する意識高揚、
子ども会、スポーツ少
年団、小学校PTA等
による資源回収事業の
奨励、「雑がみ」回収、
「新庄もがみ方式」の推
進などによりごみの減
量化を図る。

今後も3R運動を推
進する。

議員 町の食品ロス削
減運動の取り組みは。

町長 国は、本来食べ
られるにもかかわらず

廃棄されている食品、
いわゆる食品ロスが平
成26年度には年間62
1万トンであったとし、
官民を挙げた国民運動
の展開により、食品ロ
ス等の削減に取り組む
とした。

昨年11月に、環境省
は、宴会時の食べ残り
を促す取組として「3
O1O運動」を提唱し、
広く国民に呼びかけて
いる。

町も、国、県及び関係
団体と連携し、ホーム
ページやチラシ等を活
用して、趣旨を町民に
周知したい。

議員 廃棄物不法投棄
の防止施策強化を。

町長 関係機関と連携
し、不法投棄防止と適
正処理について指導強
化に努め、巡視や啓発
活動を図る。
同じ場所ですら不法投棄
が続く場合は、県の協

AEDの設置箇所の見直しと
設置増の考えは

町長

■設置箇所や利用方法を検討し、
設置数を拡大していく。



高橋 秀則 議員

議員 現在、町で設置
しているAEDのほと
んどが屋内に設置され
ており、設置されてい
る施設が休業だったり、
夜間の場合は施錠され
ているために取り出す
のに時間がかかる。緊
急時に24時間すぐに使
えるようにするべきで
はないか。

町長 現在、町では地
域総合施設2か所、学
校を含む教育施設1か
所、梅里苑、森の停車場

とスクールバス等7台
の計22基を屋内又は車
両内に5年間のリース
契約で設置している。
施設又はバスの利用者
の救命を第一に想定し
設置していること、他
現行機器が氷点下でパ
ットが凍結により動作
が不安定となる弱点が
あることや、いたずら
や盗難防止のために施
設内に設置している。
屋外に設置する場合、
保温機能ケースと防犯
ブザー付AED屋外用
容器の費用はかさむが、
今後、現行リース契約
の終了にあわせ順次、
設置や利用方法につい
て検討していく。

議員 町内の各公民館
などに設置し、誰でも
必要な場合はすぐに使
えるようにするべきで
はないか。

町長 心肺停止から5
分以内に除細動が可能
なこと、わかりやすい
場所、誰もがアクセス
できる場所、リスクが
高い場所に近いこと、

AED設置場所の周知
などが、配置に関し考
慮すべき事項とされて
いる。費用や管理面の
課題もあるので、他団
体の事例を参考にし、
政策的な検討を加え、
リスクの高い場所を中
心に今後、設置数を拡
大していく。

他の質問

●町営住宅の設備の改善を

●町の魚「ハナカジカ」の対応について



24時間使用可能なAED

地域おこし協力隊の活動と
湯ノ前おら家の運営状況は

町長

■来場は順調で存在意義が
認められつつある



平野 勝澄 議員

議員 現在、町には地
域おこし協力隊の隊員
が6名在籍しているが、
この4月から協力隊の
拠点となった湯ノ前お
ら家の運営状況は。

教育長職務執行者 本
年1月の産直まごころ
工房の撤退を受け、地
域産物加工販売施設の
在り方を再検討し、協
力隊活動拠点施設とし
て再スタートさせた。
6次産業化商品や真室
川ブランド認定品をは

じめとする町特産品の
展示販売及びPR、農
業体験など交流活動の
推進、移住・定住案内
窓口、コワーキングス
ペースなどを備えた情
報発信・交流推進施設
としての位置づけに加
え、町内若手事業者と
の連携による有機的な
事業展開に積極的に取
り組んでいる。5月か
らは「あがらしやれ真
室川」と連携した青空
市「マルシェ de おら
家」を定期開催し、徐々
に認知度が高まってき
ている。来場者数は1
日平均約50名で順調に
推移。現時点で来場者
数が町特産品等の売り

上げに直接結びつくに
至ってはいないが、施
設の存在意義は認めら
れつつある。

協力隊員の定着支援

議員 任期満了後の定
着支援の状況は。

町長 協力隊の定着率
は全国的には47%。本
町では1名が任期満了
し、協議を重ねたが定
住を希望しなかった。
在任中の6名とも進
路・定住について協議

他の質問

●スクールバスの運用について

●国民健康保険都道府県化にむけた
準備状況は



真室川町独自の教育向上と 利活用について

町長

■状況を見ながら検討する



佐藤 栄子 議員

議員 中学校の寄宿舎を合宿所、または、別の用途としての利活用について伺う。

教育長職務執行者 平成24年度を最後に利用希望者がいないことから、現在休止状況となっている。今後平成31年度に1名、32年度以降2名の利用対象者が見込まれており、利用希望があれば再開する。将来利用希望者が見込まれないと判断される

場合の計画は、原時点において未定であるが、他の公共用途への転用あるいは、民間事業への貸与等、有効活用を検討していく。

議員 保育所運営費について、事業を行うとき円滑に予算内で行われているのか、ご祝儀等のお金なども運用されているのか。

教育長職務執行者 町立保育所における保育活動は、真室川町就学前保育・教育課程に基づき、年齢別に年間目標・四半期別の指導計画を作成し、養護・教育活動にあたっている。これら保育活動に要

する経費は、各保育所所長より要望等を踏まえて保育活動に支障のないように、町一般会計で予算措置している。運動会等の行事でのご祝儀については、保育所父母の会による収受、会計管理となっているので、直接、保育所が行う日々の保育活動費用に充てることはない。

議員 1歳児の方が保育所を定員オーバーで待機の状態であるが、受け入れ対策は。

教育長職務執行者 3歳児未満児の保育需要が拡大しており、町内の地域型保育施設では2か月乳児から、認定こども園では8か月乳児から、町立



受け入れ拡大が期待される町立保育所

大型客船入港を当町に呼び込む 交流人口拡大計画は

町長

■新庄最上地域が丸になって 今後、誘客活動を推進していく



佐藤 正 議員

議員 鮭延城跡地、周辺の植跡地の観光整備計画は。

町長 町と町観光物産協会が共同で作成しました真室川町観光振興計画に基づき、観光資源の発掘・磨きを図り、当面、効率的かつ効果的に観光誘客が促進できる方法を模索していきたいと考えている。

議員 観光案内看板、パンフレットに外国語案内などの導入計画は。

町長 現在備えております外国語通訳が可能なインターネット端末等を利用対応し、効果的な案内方法を研究したいと考えている。

議員 国道344号線の整備と携帯電話の開通等を図っては。

町長 青沢トンネル内の照明更新や峠付近のオーバーレイ、雪崩防止柵の設置など整備活動を着実に実施している。

携帯電話については、高坂ダム進入路付近から青沢トンネル入口付近まで電波状況が悪く通話等が出来ない状況にあるが、緊急の場合

があると考え、連絡手段は必要なので携帯電話会社のみならず、国道を管理している山形県にも理解いただくよう努めていく。



酒田港に入港した大型客船

町教育関係者との懇談会

7月19日(水)

議会では例年町教育関係者(教育委員、小中学校校長・教頭、教育委員会事務局)との懇談会を開催しております。

今年度は、2つのテーマについて意見交換を行いました。

○新学習指導要領

幼稚園、小・中学校の教育課程の基準改善の基本的な考え方として、
◆「社会に開かれた教育課程」を重視。(子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し連携する)

◆知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成する。

◆道徳教育の充実や体験活動の重視、豊かな心や健やかな体の育成。

としています。

また、道徳教育の充実については、小中学校は平成30年4月、中学校は平成31年4月の予定。

○確かな学力育成を

各学校からは学力向上対策について報告がなされ、共通事項として学力向上と併せ体力向上も重要であると位置づけられております。

スポーツ活動もできるだけ早めに切り上げ、翌日の学習に支障をきたさぬよう、部活については強化期間を設けるが、テスト期間は部活の軽減など、家庭の協力のもとに時間を効率よく使えるような取り組み事例も報告され、お互いの活発な意見交換を行いました。



町教育関係者との教育懇談会

春夏秋冬

伝言板

この時期は夏のムシムシとした暑さや天候不順などで「体がだるい」「食欲がない」「冷える」など、不調に悩まされる人が増えてくるようです。

気温や気圧の変化・室内外の気温差などで自律神経が乱れ、血のめぐりや内臓機能が悪くなりやすいとも言われています。温かいスープやお茶などで内臓をいたわりましょう。

「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」どれを満喫しますか。

冬の訪れは早いかもしれません。冬対策も念頭におきながら健康で過ごしていきたいものです。

みんなで議会傍聴

真室川中学校3年生

9月定例会、決算委員会を真室川中学校3年生71名が傍聴しました。
自分たちに関係あることも話し合われている、と驚きの声も。
一部抜粋して紹介します。

佐藤 彩夏さん

質問の受け答えの仕方に注目し、それぞれの議員の役割りを意識して聞いた。1人30分の時間で、質問する人、答える人、議事をすすめる人達全員が書類（資料）に基づいて行い、自分たちに関わる議題も行われていた。可決されるまでに色々な工程があることが分かった。難しく私たちにあまり関係していないことを話し合っていると思っていたけど、中学校のトイレや学力、SNSの使用など私達に関係することも話し合われていることが初めてわかった。町をより良くするために議会で話し合われている。

阿部りんかさん

議会の進め方や、意見の出し方などに注目した。1つの議題について話し合う時間が制限されていること、学力など自分たちに関わる話し合いもされていることが分かった。真中のトイレの工事、すぐに工事を始めたのではなく、しっかり話し合ってからだったということが分かった。
どんなことでも、議会でちゃんと話し合いがされている。自分たちが普通に生活できているのは、議会ですっかり話し合っているからだ。

木戸 鈴葉さん

進め方（司会）や、何についてどのような考えをもっているか、どのような点を工夫しているのか気をつけて聞いた。一つのことについて、より深く活発に意見・質問が出されている、真中もこうなれば、より良い真中に近づけるのではないかと思った。真中に貢献できるような話し合いを活発にしようというやる気にもつながる良い機会だった。
小・中・高のことや経済、交通などについて質問、意見が詳しく、細やかに話されていて、すごく慎重だ。

斉藤 愛佳さん

自分たちがしている議会との違いを比べながら傍聴した。100何ページもある資料を使っていた。議員さんが質問し、担当の人が答えるというところが私たちの議会と似ている。私たちの学校生活がよいものになるよう、私たちの学力があがるように、細かいところまで質問をしていて、自分の知らないところで議員の皆さんが話し合ってくれていたことがすごい。

町民がすぐしやすくすぐせるように議員の人たちが細部まで情報をはっきりさせ、町の政治が決まった。もっと町の政治について知りたい。

佐藤 奈央さん

一つの疑問・話題からたくさん質問が出ていた。難しい話だったが、ソフトテニスなどが例に出され、自分でも、少し考えながら聴くことができた。瞬時に質問と返答をすることができてすごいと思った。

中総体（中学校総合体育大会）の補助金や病院の勤務時間について知ることができたし、自分たちにも関係のある話題だったので、自分でも考えながら聴くことができてよかった。

熊谷 天音さん

どうやって結果を決めるのか、何を基準に決めるのかを意識してみた。同じ人が何度も質問して、納得するまで答を求めている。中学校の部活のお金について、話し合っていて、学校のことは学校で解決すると思っていたので、町から補助金が出ていることにおどろいた。

町立病院のことや中学校のことなど、町のことをとてもよく考えてくれるんだなと思った。私たちがあたりまえにすごしている日々は、議員さんたちが大変な思いをして、つくってくれているんだと思った。

疑問点やおぼろけをつまむ

疑問 時間内に解決できなかったり、皆の賛成が無く可決されなかった議題（問題）は、どのようにして解決するの？
答 廃案になったり、継続審議として次の議会に持ち越しになったりします。

疑問 メモしているのはどんなこと？
答 議員の質問や執行部の答弁の要点です。それらをもとに、次の質問を考えたり、『議会だより』をつくらせています。

疑問 書記はどこに？
答 今は録音になりました（タイマーの後ろにいる人が操作しています）。

疑問 普段も中学校の話がこれだけ多いのか？
答 今回はみなさんの傍聴があるため、なる

疑問 議会ですし合い決まったことは、いつどうやって町民に伝えられているの？
答 議会ごとに発行する『議会だより』や、年一回、各地域を回る『議会報告会』などでお知らせしています。家に『議会だより』が届いたら、ぜひ読んでみてください。

疑問 補助金の話は結局どうだったの？
答 その場に資料がなかったらで後で回答されました。議員が心配したような、保護者の負担は起きないように対応されていると説明がありました。

議会を傍聴して二つの感想です。

まず、傍聴者が極端に少ないことです。議会活性化の条例まであるのに、関係者の方々は傍聴者を増やす努力をしているのでしょうか。せめて区長さん方には自主的に傍聴してほしいと思います。

次に、一般質問の質です。中には高い見識を持ち、町の将来を深く考え、意見を述べられる方もありましたが、単に行政側に説明させるだけの質問や、まわりの人にきけば済むような質問も多々ありました。議員さんはより勉強し、さらに見識を高めてほしいと思います。

勝手なことを述べましたが、自分では何もできない無力な私ですのでご容赦ください。

安久土

杉原 泉さん



中央要望活動

要望実現に向けて

(国会議員へ要望)

9月28日～29日

町と議会で、県選出国會議員（遠藤利明議員、鈴木憲和議員、加藤鮎子議員、近藤洋介議員、大沼みずほ議員、舟山康江議員）に対し、町の重要事項に係る要望書を提出してきました。

国政レベルで法整備や省庁への働きかけが必要な案件について要望しました。

【主な項目】

- ・農林水産省（農林、農村地域対策及び米政策の充実について）
- ・「全国森林環境税」の創設による森林資源の保全について
- （国土交通省）
- ・東北中央自動車道新庄～湯沢間、高規格幹線道路の整備促進について
- （厚生労働省）
- ・地域医療存続のための医師確保について



平成29年の本会議議事録は町ホームページでもご覧いただけます。
URL <http://www.yume-net.org/>

お問い合わせは
議会事務局まで
☎62-2111（内線205）

傍聴お待ちしております

● 次回の
定例会は

12月です

編集を終えて

農家の皆様にはたわわに実った稲刈りに、大忙しの日々をお過ごしのことと思います。おいしいお米をありがとうございます。

さて、9月定例会は町財政健全化比率の報告、条例改正、各会計補正予算など慎重に審議し、それぞれ可決された節目の議会でした。皆様にはどのように映ったでしょうか。当町の実質公債費率（自治体の収入に対する負債返済の割合）平成27年度決算によると5.8%と、県平均9.4%を下回り県内3位に位置しており良好な状態と言えます。

中学校3年生の皆様には傍聴においていただき、また貴重な感想などもいただき誠にありがとうございました。議会広報は皆様の意見が何よりの頼りです。ぜひ疑問点や意見がありましたらお気軽にお寄せください。

（佐藤 成子）

（議会広報常任委員会）

委員長	佐藤 正
副委員長	平野 澄
委員	佐藤 勝
委員	高橋 成
委員	佐藤 則
委員	佐藤 栄子